

れている (Muona, 2007) が、本種の雄は触角第3節が板状に著しく拡張する特徴から他種との識別は容易である。

今回の伯母峰峠の調査では、イタヒゲの雄個体と共に正体不明の *Hylis* 属の雌が1個体採集された。この雌は、イタヒゲの雄同様に体全体が黒色で、頭部正中線に沿って1本の縦隆線をもつこと (ただし、その長さは短く、基部では消失する)、背面の毛の色は黄色であるが、上翅後半部では暗褐色になること、小楯板は細長く、丸みを帯びた三角形形状であるなどの特徴が認められた。しかし、体はイタヒゲの雄より明らかに太く、両側は平行状となること、頭部の前縁の凹陷部とそこに備わる毛の束を欠くこと、触角第3節は細長く、板状に拡張しないこと、腹部第5節末端は切断状で、弱く波曲することなどの違いが認められた。このような形質の違いは、ヒメコメツキダマシ属に含まれる種の雌雄間に認められるものでもある。この雌個体は、イタヒゲの雌である可能性が高いと思われるが、国内のヒメコメツキダマシ属は既知種以外に未記載種が多く存在するため、これが本種の雌と確認することはできなかった。

大台ヶ原の伯母峰峠 (1,000 m) と本種のタイプ産地である護摩壇山 (1,372 m) は、直線距離にして約 50 km と近く、その途中には標高 1,000 m 前後の山々が隣接して連なっていることから、本種

はこれらの地域一帯に広く分布しているのではないかと推測される。原記載の護摩壇山の採集例が7月25日、今回の伯母峰峠の採集例が7月30日～8月2日とほぼ重なることから、7月下旬に、護摩壇山から大台ヶ原に至る地域の標高 1,000～1,372 m において、継続した調査をおこなえば、今回確認することができなかった雌雄の関係や生態についても明らかにすることができるのではないかとと思われる。

引用文献

- 久松定成, 1989. コメツキダマシ科. 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター・共同編集. 日本産昆虫総目録 I. pp. 346-348. 九州大学農学部昆虫学研究室, 福岡.
- 環境庁, 1995. 日本産野生生物目録 - 本邦産野生動植物の種の現状 - (無脊椎動物 II). 620 pp. 自然環境研究センター, 東京.
- Muona, J., 1987. The generic names of the beetle family Eucnemidae (Coleoptera). *Entomologica Scandinavica*, 18: 79-92.
- Muona, J., 2007. Family Eucnemidae Eschscholtz, 1829. In: Löbl, L. & A. Smetana (eds.), *Catalogue of Palaearctic Coleoptera*, 4: 81-87. Apollo Books, Stenstrup.
- Nakane, T., 1987a. New or little-known Coleoptera from Japan and its adjacent regions. XXXIX. *Review of the Social Science, Miyazaki Sangyo-keiei University*, 1: 171-177, 6 figs.
- 中根猛彦, 1987b. 日本のコメツキダマシ類についての覚え書. 月刊むし, (198): 7-11.

(2016年9月16日受領, 2016年12月21日受理)

【短報】北海道から発見された2種のコメツキダマシ

北海道に生息するコメツキダマシは、これまでに25種余りが知られているが (久松, 1985; 鈴木, 2003, 2008), 広い割には種類数は少なく、調査が進んでいる地域と比べると遅れている状況にある。

筆者は、宮田達美氏が北海道で採集されたコメツキダマシの中に、これまで北海道から記録のなかった2種を見いだしたので、ここに記録しておきたい。

報告をするに当たり、貴重な標本をご恵与くださった、宮田達美氏に厚くお礼申し上げる。

1. セアカヒメコメツキダマシ *Hylis yanoi* (Hisamatsu, 1955) (Figs. 1, 3-4)

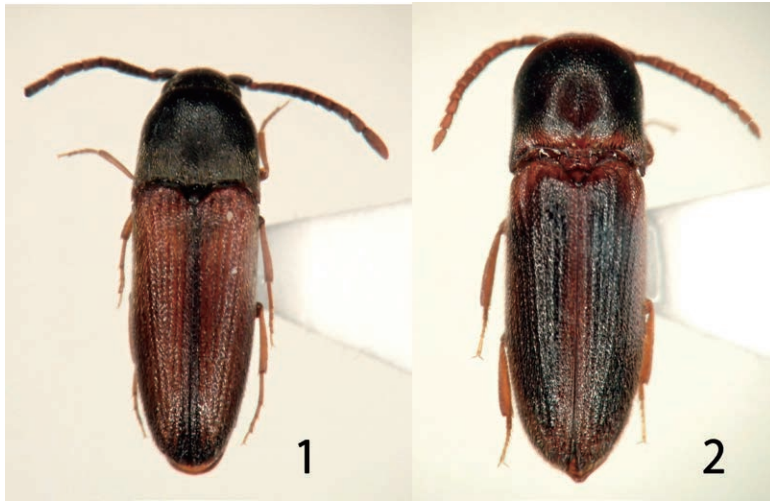
lex., 北海道札幌市円山, 26. VII. 2010, 宮田達美採集 (筆者保管)。

本種は、1954年7月21日に Toshiro Yano 氏により愛媛県の松山市に近い Misaka Pass (三坂峠) で、採集された1雄個体に基づいて *Hypocoelus* [sic] 属の種として命名記載されたものである。その後の採集例は少なく、わずかに、鈴木茂 (2015) によ

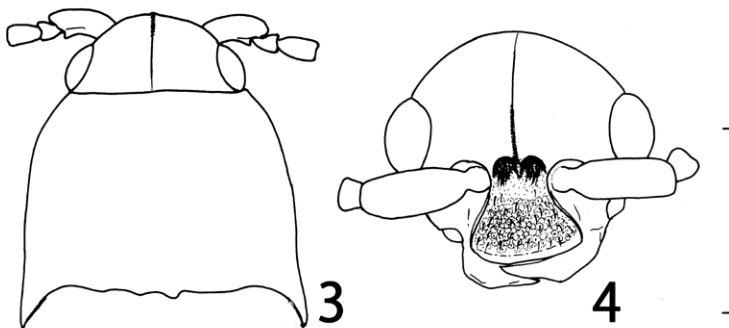
る岡山県真庭市と高梁市の記録があるにすぎない。原記載以降、久松 (1985) の図鑑でもその形態について触れられていないので、北海道産の個体に基づいて、その特徴を簡単に紹介しておく。

形態. 体長: 3.6 mm. 頭部, 前胸背板は黒色. 触角は第2節が赤褐色で第3節以降は茶褐色. 脚は黄褐色, 上翅は茶褐色であるが, 会合部, 基縁, 側縁, 先端は黒褐色. 腹面は, 黒褐色であるが, 腹部第5節末端は茶褐色となる. 頭部は密に点刻され, 正中線に沿って明瞭な隆起線を備えるが, 基部では弱まる (Fig. 3). 頭楯基部の凹陷部にはやや長い毛の束を備え (Fig. 4). 前胸背板は密に点刻され, 全体に光沢は鈍い. 触角第3節は4節より明らかに長く (1.00:0.75), 第4節は次節と同長, 11節は最も長く, 3節の2.25倍に等しい, 腹部第5節の末端は幅広く弧状を呈する.

ヒメコメツキダマシ属 *Hylis* は旧北区から11種が知られ, このうち, 4種が日本から記録されている (Muona, 2007). 国内にはこの他にも種名が未確定のものが存在することが知られている (久松, 1985; 渡, 2000). 形態が酷似する種が多く, 同定



Figs. 1-2. 1, セアカヒメコメツキダマシ *Hylis yanoi* (Hisamatsu, 1955); 2, マメフチトリコメツキダマシ *Rhagomicrus marginatus* (Fleutiaux, 1923).



Figs. 3-4. セアカヒメコメツキダマシ *Hylis yanoi* (Hisamatsu, 1955). 3, Head and pronotum, dorsal view; 4, head, frontal view. Scale: 0.7 mm for 3, 0.5 mm for 4.

は容易ではないが、本種は脚全体が赤褐色であることや上翅の大部分が暗赤褐色を呈すること、前胸背板にはいかなる凹陷部を持たないこと、腹部末端は広く丸まり、切断状ではないことなどの特徴を併せ持つことにより、他種から識別することができる。

今回、四国・中国地方から飛び離れた北海道に本種が生息することが明らかになったため、これらの地域に挟まれた東北地方、関東地方、そして関西地方にも生息している可能性がでてきた。今後は、これらの地域での生息確認が望まれる。

分布：北海道，本州（中国地方），四国。

2. マメフチトリコメツキダマシ *Rhagomicrus marginatus* (Fleutiaux, 1923) (Fig. 2)

lex., 北海道札幌市円山, 11. VII. 2001, 宮田達美採集（筆者保管）。

本種はこれまで本州から九州にかけて広く分布することが知られている（久松, 1985）。

近年では極東ロシアにも分布することが報じられているが（Muona, 2007），詳細な地域は明記されていない。北海道からは上記の個体が最初の記録となる。

分布：北海道，本州，四国，九州；極東ロシア。

引用文献

- Hisamatsu, S., 1955. The Eucnemidae of Shikoku, Japan (Coleoptera). Transactions of the Shikoku Entomological Society, 4(5/6): 96-102.
- 久松定成, 1985. コメツキダマシ科. 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之編著, 原色日本甲虫図鑑 (III): 42-51 (pls. 8-9). 保育社, 大阪.
- Muona, J., 2007. Family Eucnemidae Eschscholtz, 1829. In: Löel, L. & A. Smetana (eds.), Catalogue of Palaearctic Coleoptera, 4: 81-87. Apollo Books, Stenstrup.
- 鈴木 茂, 2015. 岡山県で採集したコメツキダマシ科甲虫. すずむし, (150): 39-42.
- 鈴木 互, 2003. 北海道におけるエノキコメツキダマシの記録. 甲虫ニュース, (141): 16.
- 鈴木 互, 2008. 日本から発見されたカラフトカクムネコメツキダマシ. 甲虫ニュース, (161): 33-34.
- 渡 弘, 2000. Coleoptera 甲虫目. 円海山地域自然調査会(編), 円海山地域の昆虫. 神奈川虫報, (130): 115-286.

(鈴木 互 211-0031 川崎市中原区木月大町 6-1 法政大学第二高等学校生物科)